

Gale Primary Sources

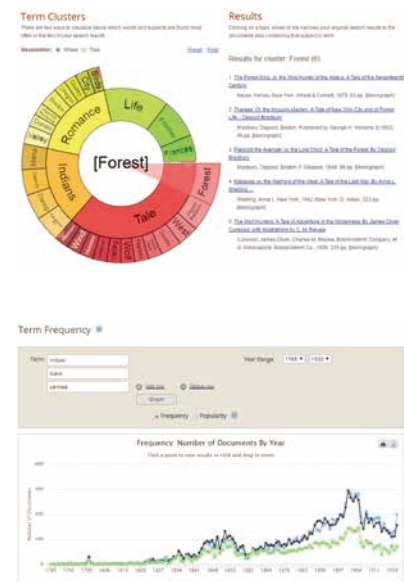
Start at the source.

デジタル人文学の時代の研究・学習環境を サポートするプラットフォーム



学術資料がデジタル化され、電子リソースが研究と教育の不可欠のインフラになると、研究や教育のあり方も変化せざるを得ません。どれだけ多くのデジタル化された学術資料へ効率的にアクセスできるかが、研究や教育にとって大きな意味を持てます。

学術機関における研究と教育の環境変化という現状に対応するために、小社は、これまで提供してきた歴史資料を搭載する数々のデータベースをワンストップに利用するプラットフォーム、Gale Primary Sourcesを開発しました。このプラットフォームでは、書籍、パンフレット、雑誌、新聞、判例、法令、マニュスクリプト、写真、地図、楽譜等、様々な形態の歴史資料を横断検索することができます。分野は、文学、宗教、哲学、芸術、政治、経済、法律、教育、社会から理工、医学まで、広範な分野をカバーしています。



多くのデジタル化資料に効率的にアクセスできることに加え、大量の検索結果から意味のある結論を導き出すことができなければ、デジタル化資料を有効に利用したことはありません。Gale Primary Sourcesでは、コンテンツとメタデータを体系的に紐付け、検索結果をグラフ化する視覚化ツールの実装を行ない、大量の検索結果から意味のある結論へ効率的にナビゲートする工夫を図っています。その他、共同研究グループ間での情報共有を想定したタグ保存共有機能、検索結果や注釈を保存できる個人アカウント機能など、デジタル化時代に効率的に研究を進めるための各種機能も充実しています。Gale Primary Sourcesはデジタル人文学の時代の研究・学習環境をサポートすることを目的として開発されたプラットフォームです。

〈 Gale Primary Sources で横断検索できるデータベース 〉

- 17th and 18th Century Burney Collection
 - 17th and 18th Century Nichols Newspapers Collection (*)
 - 19th Century UK Periodicals
 - American Civil Liberties Union Papers, 1912-1990
 - American Fiction
 - Archives Unbound
 - Archives of Sexuality & Gender
 - Associated Press Collections Online
 - Brazilian and Portuguese History and Culture
 - British Library Newspapers
 - China from Empire to Republic
 - Crime, Punishment, and Popular Culture 1790-1920
 - Daily Mail Historical Archive, 1896-2004
 - The Economist Historical Archive, 1843-2012
 - Eighteenth Century Collections Online
 - The Financial Times Historical Archive, 1888-2010
 - The Illustrated London News Historical Archive, 1842-2003
 - The Independent Digital Archive, 1986-2012
 - Indigenous Peoples: North America
 - Liberty Magazine Historical Archive, 1924-1950
 - The Listener Historical Archive, 1929-1991
 - The Making of Modern Law: Foreign Primary Sources
 - The Making of Modern Law: Foreign, Comparative, and International Law, 1600-1926
 - The Making of Modern Law: Legal Treatises, 1800-1926
 - The Making of Modern Law: Primary Sources
 - The Making of Modern Law: Trials, 1600-1926
 - The Making of Modern Law: U.S. Supreme Court Records & Briefs, 1832-1978
 - The Making of the Modern World
 - Nineteenth Century Collections Online
 - Nineteenth Century U.S. Newspapers
 - Picture Post Historical Archive
 - Punch Historical Archive, 1841-1992
 - Sabin Americana, 1500-1926
 - Smithsonian Collections Online
 - The Sunday Times Digital Archive
 - The Telegraph Historical Archive
 - The Times Digital Archive
 - Times Literary Supplement Historical Archive
 - U.S. Declassified Documents Online
- (2017年2月現在)
(*) 2017年3月リリース予定



すべてのコンテンツと機能をお試しいただける1ヶ月の無料トライアルをご提供しております。商品に関するお問い合わせは、センゲージラーニング株式会社までお願いします。
Tel : 03-3511-4390 E-mail : GaleJapan@cengage.com



20世紀の三大論壇誌の一つ、
BBC発行の週刊誌リスナーをフルテキスト検索

Gale Primary Sources
Start at the source.

The Listener Historical Archive 1929-1991

本データベースはイギリス放送教会 (BBC) が発行した週刊誌リスナーを原本に忠実に再現したウェブ版で、全文検索が可能です。多くの作家、知識人が寄稿、20世紀のイギリスにおいて知の羅針盤の役割を担った知る人ぞ知る教養雑誌が今に甦ります。 ※法的な理由で掲載されていない記事があります。

▶▶▶ BBC の高級誌

リスナーは放送番組のテキストを永続的に保存することを目的として1929年に創刊されたBBCの雑誌です。同じくBBCが発行するラジオ・タイムズが大衆向けの雑誌であるのに対して、リスナーは広範な知的オーディエンスを読者とするBBCの高級誌です。イギリス論壇、文壇での知名度は抜群で、スペクテーター、ニューステーツマンと並ぶ三大論壇誌の一つと称されたこともあります。BBCの抜群のブランド力を背景に、多くの作家、批評家、芸術家が引き寄せられるようにリスナーに集いました。

▶▶▶ 初期の放送番組に関する唯一の記録資料

放送初期の番組を記録したテープは、再利用されることが多かったため、残っていないケースが多く、テキストの形で残っているスクリプトが唯一の資料です。BBCの初期のラジオ、テレビ番組の内容を知るにはリスナーを参照するしか方法はありません。記事は大半がラジオ、テレビ番組のスクリプトや番組評で、放送番組に関わりを持たない記事は全体の約10%です。



エドワード8世退位スピーチ (1936年12月16日)

詳細検索 (検索範囲の指定、掛け合わせ検索、ファジー検索)のほか、印刷、ダウンロード、メール送信、書誌生成とエクスポート、各種ビューワ機能 (ページ送り、拡大・縮小、輝度・コントラスト調整) が実装されています。

▶▶▶ 文芸誌・書評誌としてのリスナー

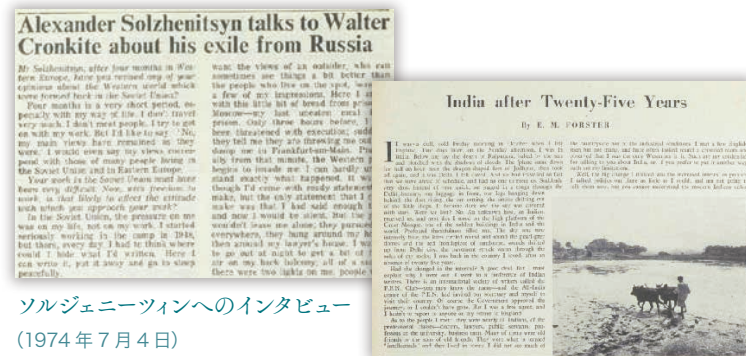
リスナーはBBC放送番組の記録資料であると同時に、文芸誌、書評誌として大きな足跡を残しました。多くの作家がリスナーに作品を発表しました。また、BBCが発送したインタビュー番組のスクリプトも掲載されました。中でも、1950年代のキングズリー・エイミス、1960年代のナボコフ、1970年代のI.マキューアン、ソルジェニーツィンのソ連追放後初めてのインタビューが有名です。リスナーには多くの批評作品も掲載されました。後に『言語と沈黙』に収録されるジョージ・スタイナーの『言葉からの退却』は、BBCの第三プログラムで放送されたものがリスナーに二回に亘り掲載されたのが初出です。その他、『青巖の城にて』など、スタイナーの重要テキストがリスナーには掲載されています。しかし、リスナーと最も関わりが深かった作家を一人挙げるとすれば、おそらくE.M.フォースターでしょう。1930年頃から1970年頃まで実に40年間に亘るリスナーでのその批評活動は、書下ろしの書評からラジオ番組での作家論、『インドへの道』刊行25周年を機に再訪したインド紀行など多方面に及び、まさにリスナーの看板作家として健筆を揮いました。

▶▶▶ 政治、経済から科学技術、文学、芸術、大衆文化、宗教、旅行、料理、ガーデニングまで広範なテーマ

書評や文芸関係の記事だけでなく、国民医療サービス (NHS) の開始を告げるアトリー首相の国民向け演説、経済学者ケインズの時論、物理学者ロバート・オッペンハイマーの講義、美術史家ケネス・クラークの記念碑的「文明」シリーズ講義、動物学者デヴィッド・アッテンボロウの講義など、リスナーが掲載した記事は広範なテーマに及びます。

▶▶▶ 戦時下のリスナー

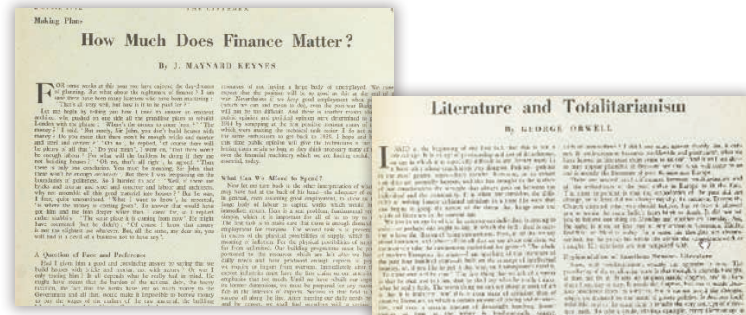
1930年代から40年代にかけての総力戦の時代、メディアは戦時統制下に置かれました。1936年に始められたテレビ放送が国防上の理由から中断させられると、BBCラジオが情報のライフラインとしてイギリスの国民生活を支える上で大きな役割を果たしました。BBCは対外宣伝放送に知識人をはじめ多くの人々を動員しましたが、中でもジョージ・オーウェルの活動は有名です。またBBCは、疎開児童向けに教育番組を提供することによって教材の不足を補い、一般市民の生活に役立つ番組を提供し、物資や食糧の欠乏を補いました。



ソルジェニーツィンへのインタビュー (1974年7月4日)



G.K. チェスタトンの書評 (1932年11月9日)



ケインズ「金融はどれほど重要か」 (1942年4月2日)



ジョージ・オーウェル「文学と全体主義」 (1941年6月19日)

◀◀◀ (寄稿者例)

【作家】

- ◆ ビーター・アクロイド
- ◆ アンナ・アフマトヴァ
- ◆ クリストファー・イチャウッド
- ◆ イヴリン・ウォー
- ◆ ケネス・タイン
- ◆ ヴァージニア・ウルフ
- ◆ キングズリー・エイミス
- ◆ マーティン・エイミス
- ◆ W.H. オーデン
- ◆ アーサー・C. クラーク
- ◆ ジャーメイン・グリア
- ◆ ジョージ・バーナード・ショー
- ◆ ステューブンス・スベンダー
- ◆ ドロシー・セイヤーズ
- ◆ ボール・セロー
- ◆ ソルジェニーツィン
- ◆ キャロル・アン・ダフィー
- ◆ G.K. チェスタトン
- ◆ セシル・デイ・ルイス
- ◆ ディラン・トマス
- ◆ A.S. バイアット
- ◆ オルダス・ハクスリー
- ◆ アンソニー・バージェス
- ◆ ジュリアン・バーンズ
- ◆ シェイマス・ヒーニー
- ◆ テッド・ヒューズ
- ◆ メイヴ・ピンチャー
- ◆ E.M. フォースター
- ◆ アーサー・ブライアント
- ◆ シルヴィア・プラス
- ◆ マルコム・ブラッドリー
- ◆ マイケル・フレイン
- ◆ ジョン・ベッジマン
- ◆ アラン・ベネット
- ◆ ソール・ペロー
- ◆ ウィリアム・ボイド
- ◆ アラン・ホリングハースト
- ◆ アイリス・マードック
- ◆ フィリップ・ラーキン
- ◆ サルマン・ラシュディー
- ◆ ジョン・ル・カレ
- ◆ ウィンダム・ルイス

【文芸批評家・演劇批評家】

- ◆ テリー・イーグルトン
- ◆ レイモンド・ウィリアムズ
- ◆ フランク・カーモード
- ◆ ジョージ・スタイナー
- ◆ ヒュー・ダルトン
- ◆ ウェイン・ブース
- ◆ ビーター・ブルック
- ◆ ヘルムート・ブレヒト

【美術批評家】

- ◆ ケネス・クラーク
- ◆ エルンスト・ゴンブリッチ
- ◆ アンソニー・プラント

【作曲家・音楽批評家】

- ◆ デインリー・ハッシー
- ◆ ピエール・ブレーズ
- ◆ フィリップ・ホープ・ウォレス

【哲学者・社会批評家】

- ◆ ハナン・アレント
- ◆ レイモン・アロン
- ◆ A.J. エイヤー
- ◆ ノーム・チョムスキー
- ◆ アイザイア・バーリン
- ◆ ダニエル・ベル
- ◆ スチュアート・ホール
- ◆ パートランド・ラッセル
- ◆ マアリー・ワノック

【演出家・俳優】

- ◆ ノエル・カワード
- ◆ サイモン・キャロウ
- ◆ ジョン・ギールグッド
- ◆ ジョン・クリーズ
- ◆ ステューヴン・フライ
- ◆ スパイク・ミリガン

【政治家・外交官】

- ◆ クレメント・アトリー
- ◆ アンソニー・イーデン
- ◆ コナー・クルーズ・オブライエン
- ◆ エドウィナ・カリ

【文芸批評家・演劇批評家】

- ◆ ヘンリー・キッシンジャー
- ◆ バーバラ・キャッセル
- ◆ ヒュー・グイツケル
- ◆ ジョージ・ケナン
- ◆ アレック・ダグラス＝ヘューム
- ◆ ヒュー・ダルトン
- ◆ ネヴィル・チェンバレン
- ◆ ウィンストン・チャーチル
- ◆ エイモン・デ・ヴァレラ
- ◆ シャルル・ド・ゴール
- ◆ イノック・パウエル
- ◆ ロイ・ハッターズリー
- ◆ マイケル・ハワード
- ◆ エドワード・ヒース
- ◆ マイケル・フット
- ◆ ビーヴァーブルック卿
- ◆ アナリン・ベヴァン
- ◆ トニー・ベン
- ◆ スタンリー・ボールドウィン
- ◆ ラムゼイ・マクドナルド
- ◆ ハロルド・マクミラン
- ◆ オズワルド・モズレー
- ◆ デイヴィッド・ロイド＝ジョージ

【美術批評家】

- ◆ ケネス・クラーク
- ◆ エルンスト・ゴンブリッチ
- ◆ アンソニー・プラント

【作曲家・音楽批評家】

- ◆ デインリー・ハッシー
- ◆ ピエール・ブレーズ
- ◆ フィリップ・ホープ・ウォレス

【哲学者・社会批評家】

- ◆ ハナン・アレント
- ◆ レイモン・アロン
- ◆ A.J. エイヤー
- ◆ ノーム・チョムスキー
- ◆ アイザイア・バーリン
- ◆ ダニエル・ベル
- ◆ スチュアート・ホール
- ◆ パートランド・ラッセル
- ◆ マアリー・ワノック

【演出家・俳優】

- ◆ ノエル・カワード
- ◆ サイモン・キャロウ
- ◆ ジョン・ギールグッド
- ◆ ジョン・クリーズ
- ◆ ステューヴン・フライ
- ◆ スパイク・ミリガン

【政治家・外交官】

- ◆ クレメント・アトリー
- ◆ アンソニー・イーデン
- ◆ コナー・クルーズ・オブライエン
- ◆ エドウィナ・カリ

【社会学者・経済学者】

- ◆ ベアトリス・ウェップ
- ◆ アンソニー・ギデンズ
- ◆ ジョン・メイナード・ケインズ
- ◆ アーネスト・ゲルナー
- ◆ ウィル・ハットン
- ◆ ウィリアム・ヒヴァレッジ
- ◆ E.E. エヴァンズ・プリチャード
- ◆ ルース・ベネディクト

【映画監督】

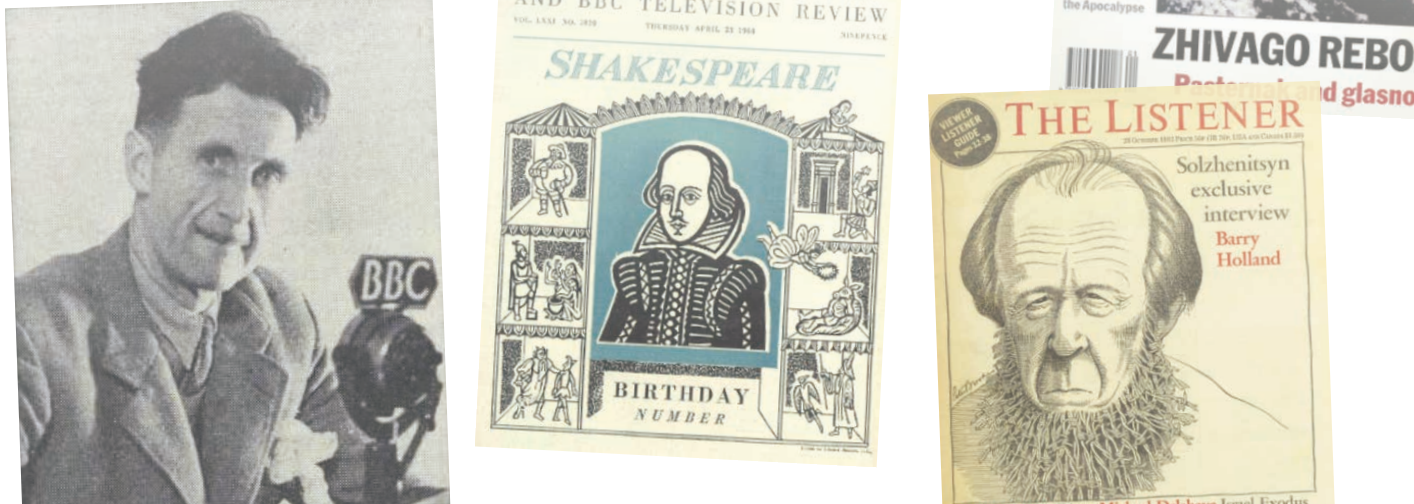
- ◆ ジョン・コクトー
- ◆ アルフレッド・ヒッチコック

【科学者】

- ◆ デヴィッド・アッテンボロウ
- ◆ アレックス・コンフォート
- ◆ リチャード・ドーキンス
- ◆ ジュリアン・ハクスリー
- ◆ フレッド・ホイル

【ジャーナリスト・出版人】

- ◆ アリステア・クック
- ◆ グレース・ウィングダム・ゴールドー
- ◆ クライヴ・ジェームズ
- ◆ ネット・シェリン
- ◆ マーク・タリー
- ◆ ディンプルビー兄弟
- ◆ ジェレミー・バクスマン
- ◆ ヴァノン・パトリック
- ◆ リビー・パーヴス
- ◆ ジョン・ハンフリーズ
- ◆ アイアン・ヒスロップ
- ◆ メルヴィン・ブラグ
- ◆ サイモン・ホガート
- ◆ マルコム・マグリッジ
- ◆ エスター・ランツゼン
- ◆ ジョン・リース



料理のレシピなど戦時下の生活情報を提供した週刊コラム。戦後もタイトルを変えて続けられ、リスナーの長期連載記事になった。